

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	広域営農団地農道整備事業	都道府県名	大阪府	地区名	岩湧（２期）
-----	--------------	-------	-----	-----	--------

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		１１，２８４，１４９千円	
年 効 用		５４３，７２８千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		６７ 年	当該事業の耐用年数
還元率×（１＋ 建設利息率）		０．０４４２	総合耐用年数に応じた効用から 総費用を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	１２，３０１，５３８千円	
費 用 便 益 比	= ÷	１．０９	

２．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の節減	営農に係る走行経費 節減効果	３２６，９３３	農道を整備することで農作物 運搬及び営農通作の車両走行 に要する経費を節減する。 対象作物：水稻、なす、きゅ うり、みかん、ぶどう
	維持管理費節減効果	２，１４４	農道整備に伴う施設の維持管 理費の節減
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更新効果	３，８９４	施設更新に伴い農道の機能が 継続して発現する効果
地域の生活環境 の保全・向上	一般交通等経費節減 効果	１７７，２９２	一般交通、林業交通の車両走 行時間の短縮、機械経費節減
	安全性向上効果	３７，５５０	歩道設置により歩行者の安全 確保
	公共施設保全効果	２０３	農道と交差する道路の付替、 取付整備により道路機能が維 持される効果
計		５４３，７２８	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	広域営農団地農道整備事業	都道府県名	広島県	地区名	芸北（３期）
-----	--------------	-------	-----	-----	--------

１．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	= +	24,106,309 千円	
当該事業による費用		20,257,500 千円	
その他費用		3,848,809 千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間		66 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）		25,871,212 千円	
総費用総便益比	= ÷	1.07	

２．年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
営農に係る走行経費節減効果	834,903 千円	農道の整備を実施した場合と実施しなかった場合での農業輸送車両の走行経費が節減される効果。 輸送対象作物：水稻，キャベツ，広島菜
維持管理費節減効果	3,833 千円	農道の整備を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理が増減する効果。 対象施設：農道
一般交通等経費節減効果	778,648 千円	農道の整備を実施した場合と実施しなかった場合での一般車両や林業車両の走行経費が節減される効果。
計	1,609,718 千円	